

インターカレッジ民法討論会 ルールブック 2024

2024年度龍谷大学インターカレッジ民法討論会実行委員会

【準備段階におけるルール】

- ◇ 教員ならびに大学院生等は、参加ゼミの学生らによる準備のいかなる段階においても一切関与してはならない(クリーンルームの原則)。同様の見地から、学生の準備会にも立ち会ってはならない。
ゼミの時間を使う場合であっても、その場に教員・大学院生等がいてはならない。
- ◇ 参加学生は自分たちのノウハウで準備しなければならない。一般的な図書館レベルの助言のほかは、文献情報なども含め一切アドバイスを受けてはならない。

【受付・会場に関して】

- ◇ 龍谷大学深草キャンパス 3号館 3階 301号教室で実施する。
- ◇ 受付は、2024年12月15日(日)10時より開始する(10:30開会予定)。
- ◇ 会場入口にて、各ゼミの代表者は、当日参加者の一覧と合計人数をA4用紙に明記して提出すること(代表者1名は、10:20に受付に集合。報告順を決める抽選を行う)。
- ◇ 参加ゼミの学生は、会場内では、ゼミ毎に指定されたエリアに着席すること(一般参加者、教員は後方に着席すること)。
- ◆ なお、感染症の感染拡大等が懸念される場合は、オンラインに切り替えて実施する。
- ◆ 発熱、咳等の症状がある場合、参加は認められない(状況に応じて会場入口にて検温を行う)。なお、当日は日曜日のため学内診療所は閉鎖しています。

【立論・質疑応答】

- ◇ 発表者は5人以内。
- ◇ 黒板使用不可。
- ◇ 壇上への資料の持ち込み可。
- ◇ 発表時間は1ゼミ10分以内とする。時間を超過した場合も、発表は中断しない。ただし、著しい超過の場合は、司会の判断により中断させることがある。超過した時間は公表する。
- ◇ レジュメを会場内のモニタに投写する場合、会場設置のPCを利用する。利用を希望する場合、データをUSBで持参する。
- ◇ 発表後、1分間のインターバルの後に、質疑応答に入る。質疑応答は12分間とする。ただし、12分経過の時点で質疑応答が行われている場合には、司会の裁量のもとその続行を認める。
- ◇ 質問者は挙手し、原則として挙手の早い者から司会者が指名する。ただし、司会者は、指名に際して特定のゼミ・人物に偏らないように配慮する。

- ◇ 質問者は質疑応答終了後に、所属ゼミと氏名を運営スタッフに伝える（運営スタッフが記入用紙を配布する）。
- ◇ 質問に際しては、質問者は、まず所属ゼミと氏名を述べ、質問は簡潔・明瞭に行うよう努める。
- ◇ 発表ゼミは、質問終了時から1分以内に応答しなければならない。1分以内に応答がない場合、無回答とされ、次の質問に移る。
- ◇ 所属ゼミの報告に対する質問は原則禁止とする。ただし、所属ゼミ以外の参加ゼミから質問がない場合には、これを認める。
- ◇ 参加ゼミからの質問もない場合には、一般参加者にも質問を認める。ただし、一般参加者は優秀質問者賞の対象とはならない。

【レジュメについて】

- ◇ レジュメの原稿は、用紙のサイズA4とし、ページ数は4ページ以内とする。
- ◇ レジュメの体裁（フォント、サイズ、余白、色づけ、下線等）にとくに制約はない。参加者が読みやすいように配慮する。
- ◇ **レジュメの提出は、12/15(日)の午前8時までに、J210357@mail.ryukoku.ac.jp に送信する。提出はPDFファイルで行う。**

※提出するファイルのタイトルは「**2024年インカレ●●ゼミ**」で統一とする。

- ◇ 動画ファイル、音声ファイルの添付は不可とする。
- ◇ 参加者は、各自でGoogle Driveに共有されているドライブフォルダからダウンロードを行う。**ダウンロードは、当日9時以降に下記URLから可能とする（紙媒体の配布はなし）。**

<https://drive.google.com/drive/folders/18H5bH1AIDhJQaWfYoSSPPsK968kooQWL>

●なお龍谷大学構内では、eduroamが利用可能。

【各報告の評価・投票方法】

- ◇ 各ゼミに対する評価は、投票によって行う。
- ◇ 各ゼミへの評価は、発表・レジュメ・質疑応答の3つの観点から、下記の【採点基準】にしたがって、公平に採点する。
- ◇ 各採点項目の上限は5点とし、15点満点で評価する。ただし教員は、各項目の上限を10点とし、30点満点で評価する。
- ◇ 投票権は、すべての討論を聞いた教員、学生および一般参加者に認める。
- ◇ 討論に参加したゼミに所属する学生は、所属ゼミへの投票は禁止する（所属ゼミへの投票は無効とする）。
- ◇ 投票はGoogleフォームを用いる（当日アクセスURLのQRコード等を掲示予定）。

- ◇ Google フォームでは、学生および一般参加者は、自己の属性を選択したあと、各ゼミに対して、3～15点満点でその評価を半角数字で記入する。教員は30点を上限に半角数字で記入する。

【採点基準について】

●レジュメ

- ・書き方がわかりやすいか。
- ・内容と発表に矛盾はないか。

●発表

- ・報告の姿勢が良かったか。
- ・報告の趣旨・内容・結論が明確であったか。
- ・結論を導く根拠、法律構成が明確であったか。
- ・根拠は客観的であり、説得力があったか。
- ・発表時間を有効に使えていたか（超過していないか）。

●質疑応答

- ・質問を正確に理解し、それに対して適切に回答ができたか。
- ・応答は簡潔でわかりやすかったか。

[学生・一般参加者による評価]

①レジュメ【最大5点】 + ②発表【最大5点】 + ③質疑応答【最大5点】
=合計点数【最大15点】

[教員による評価]

①レジュメ【最大10点】 + ②発表【最大10点】 + ③質疑応答【最大10点】
=合計点数【最大30点】

【優秀質問者賞への投票】

- ◇ 投票権はすべての討論を聞いた教員と学生、一般参加者に認める。優秀質問者の投票に関しては、各参加者が公平な観点から投票するとの信頼のもと、同じゼミの学生への投票も可能とする。
- ◇ 優秀質問者については、この賞を得るにふさわしいと思われる質問者1名を選択する。教員は2名選択できる。投票結果を踏まえ、参加教員の合議のもとに、優秀質問者賞の受賞者（2名以上）を決定する。

【補足】各ゼミの獲得点数の計算方法と順位の確定について

本討論会では、下記の計算式によって各ゼミの評価(得点)を確定する。

1) 平均点の計算について

学生・一般参加者の総合計点数・教員の総合計点数をそれぞれの有効投票数で別々に割って、平均点を出す。平均点を出す際、小数第2位を四捨五入する。

2) 獲得点数の計算について

学生・一般参加者の平均点【最大 15 点】×2 + 教員の平均点【最大 30 点】
= 獲得点数【最大 60 点】

※所属ゼミへの投票は無効となる。

※投票の結果、獲得点数が同点のゼミが出た場合、教員票の平均点の高いゼミを高順位とする。

【タイムテーブル】

10:00～10:30 開場・順次受付 (30分) ※10:20頃に代表者くじびき

10:30～10:50 開会式 (20分) 挨拶、教員紹介、ルール説明等

10:55～11:20 立論① (25分)

11:20～11:45 立論② (25分)

11:45～12:10 立論③ (25分)

●12:10～13:10 昼休憩 (60分) ※会場内での飲食の際はご配慮ください。

13:10～13:35 立論④ (25分)

13:35～14:00 立論⑤ (25分)

●14:00～14:15 休憩 (15分)

14:15～14:40 立論⑥ (25分)

14:40～15:05 立論⑦ (25分)

●15:05～15:25 休憩 (20分) 集計作業等

15:25～16:55 出題者解説+教員討論 (90分)

●16:55～17:15 休憩 (20分) 集計確認、順位・各賞決定、表彰準備等

17:15～18:00 各ゼミ代表より一言。結果発表+表彰→閉会 (学生より挨拶)

以上